

目次

1～2面

「平和」を騙る戦争放火者どもの談合
世界と日本の現実をさらけ出したG7広島サミット

大山歩

2～3面

HOWS講座報告
憲法と沖縄とウクライナ
いまこそ「政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起こることのないやうにすることを決意し」行動するとき
高良鉄美（参議院議員 会派〈沖縄の風〉・琉球大学名誉教授）

《2023年夏季醸金アピール》

いまこそ労働者が戦争を止めるとき
岸田政権の壊憲攻撃・軍拡路線と闘おう！

〈活動家集団 思想運動〉 常任運営委員会

4面

反戦メーデーでHOWSがアピール
人類共滅の核戦争を食い止めよう！

大村歳一（HOWS事務局）

米軍新部隊の横浜ノースドック配備撤回の闘い
神奈川で「総がかり」的な運動を

高梨晃嘉（共同行動のためのかながわアクション代表世話人）

5面

5・3集会での泉川友樹氏の発言に共感
日中間の緊張、外交努力で平和的解決を

逢坂秀人

へり事故から見る「南西シフト」
政府も国民も沖縄の過重基地負担に向き合うべきだ

明真南斗（『琉球新報』東京支社記者）

国際短信 世界のいま

〈グローバルサウス〉二一世紀における新世界情報通信秩序

杉林佑樹

6面

神奈川 4・24教育闘争75周年街宣での挨拶
朝鮮学校の民族教育守るため共闘を

大村歳一

群馬の森朝鮮人追悼碑が存続の危機

歴史修正主義と闘い、絶対に撤去させない！

松本浩美（フリーランスライター）

7面

フィリピンより英語版『思想運動』にメッセージ
アジアを戦場にさせない国際連帯を
エドゥアルド・ランダヤン（フィリピン共産党（PKP-1930）書記長）

わたしの韓国滞在記
韓国には民がいる

佐野通夫（東京純心大学教授）

8面

技能実習制度は廃止されるのか
労働者、生活者としての権利が尊重される制度を

佐々木史朗（全統一労働組合）

放射能汚染と向かい合うための基礎知識（35）
飯舘村の放射能汚染調査⑤

今中哲二（京都大学複合原子力科学研究所研究員）

労働者通信

郵政ユニオンのストライキ報告（滋賀・兵庫）
大幅賃上げと反戦かかげて

船山良成（郵政ユニオン灘支部）

前照灯

育児や介護の「対価」

9面

エッセイ

図書室の片隅で
——『はだしのゲン』の思い出

伊藤龍哉（文芸評論家）

高知県「平和資料館・草の家」を訪ねて
「草の家」を営む力から大きな勇気を得る

李愛玲（在日本朝鮮青年同盟神奈川県本部副委員長）

紙つぶて

前号の参政党の記事をめぐって

坂口一郎（東京都在住）

福島県三春町で憲法学習会

林正二（三春町在住）

10面

HOWSの講座案内 6月～7月

麻生三郎展を観て
抑圧されたものとそのきしみ

松岡慶一

11面

目取真俊の最新短編集『魂魄の道』を読む

ヤンバルの村言葉でも語れない沖縄戦の記憶

越川芳明（明治大学名誉教授）

催物案内

12 面

書評 清水雅彦著『憲法改正と戦争 52 の論点』
戦争違法化の流れに悼さす “ために”

安在郷史

頂門一針

トルコ革命から一〇〇年

演劇時評

面従腹背の会公演「蝶が羽を閉じるとき」
ナチス占領下の面従腹背の抵抗を描く

高橋治男（フランス文学者）

編集部発

付録 1～2 面

資料

朝鮮海外同胞援護委員会備忘録（二〇二三年四月二十四日）

在日朝鮮人の民族教育抹殺を狙った日本反動勢力の罪悪の歴史はぜったいに否定できない